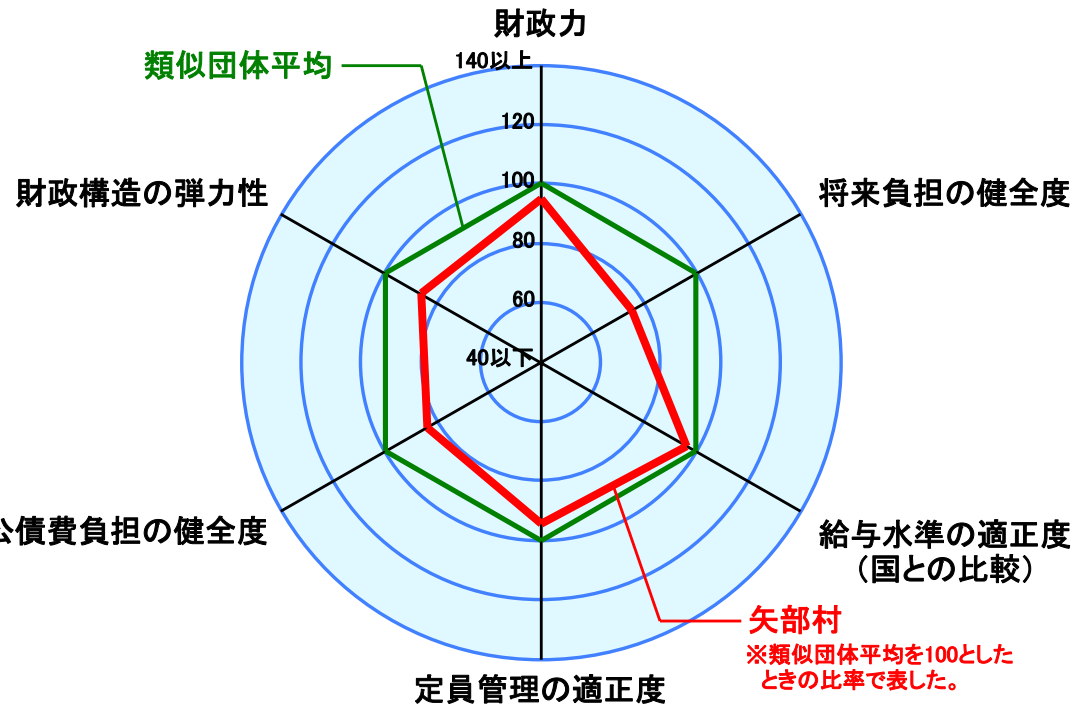


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福岡県 矢部村

人口	1,762 人(H17.3.31現在)
面積	80.46 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,717,626 千円
歳出総額	2,662,177 千円
実質収支	54,123 千円

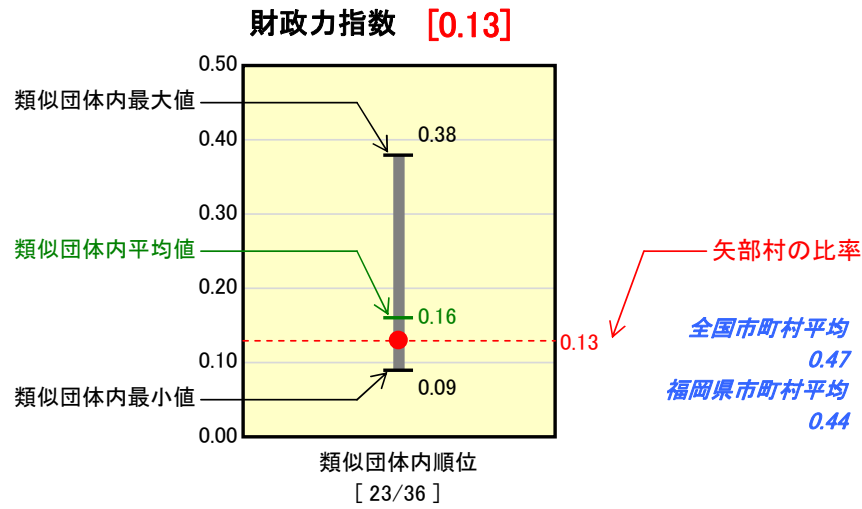


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

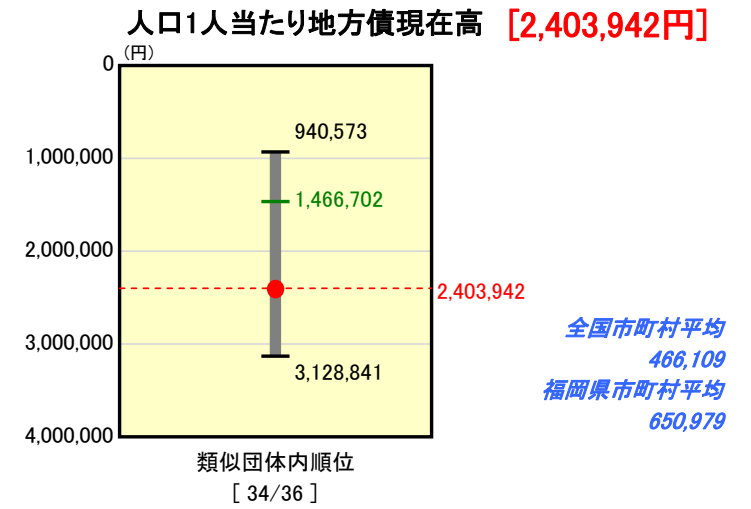
### 分析欄

- 財政力指数  
人口減少や高い高齢化率(16年度末40.8%)に加え、主たる産業である農林業の長引く低迷による減収などから0.13と類似団体平均をかなり下回っている。職員数の削減・委託料、補助交付金の見直し等により義務的経費を徹底して削減、特色あるむらづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率  
人件費及び公債費の増加により98.4%と類似団体平均を大きく上回っている。退職者の不補充・新規採用の凍結により職員数を削減、事務の合理化を図る。また、新規事業を中止し起債発行を抑制、繰上償還により、公債費の縮減に努める。
- 起債制限比率  
普通建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均を大きく上回っている。起債依存型事業実施を見直し、緊急性・住民ニーズを的確に把握した事業の選択をし、新規発行の抑制に努めていく。
- 人口1人当たり地方債現在高  
13年度以降行ってきた林道事業、学校及び村営住宅建設事業等により増加している。継続事業の林道事業が17年度で終了するため、今後は、起債依存型事業実施を見直し、起債の新規発行の抑制に努めていく。
- ラスパイレス指数  
平成18年度より特別職等の給料削減等と併行し、職員の給与削減(管理職2%・一般職2%)を実施し、以降も削減率の検討を加えつつ、より一層の給与の適正化に努める。
- 人口1,000人当たり職員数  
平成16年度に策定した職員定員適正化計画に基づき退職不補充・採用凍結等により、最終年度の22年度には、対16年度比10%の削減を目標として取り組んでいく。

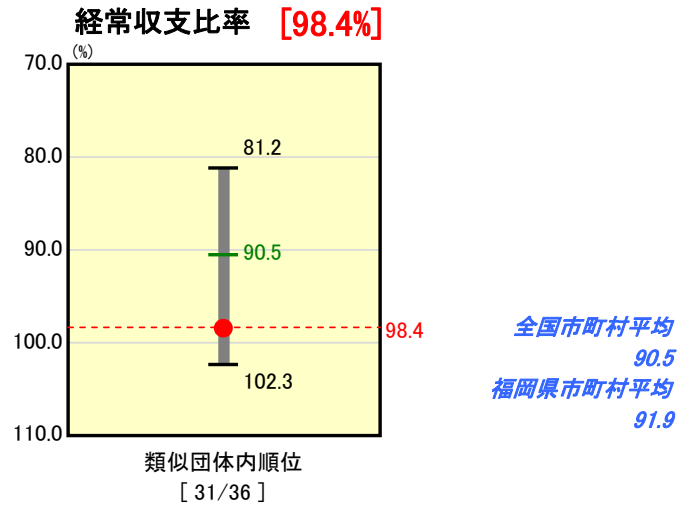
### 財政力



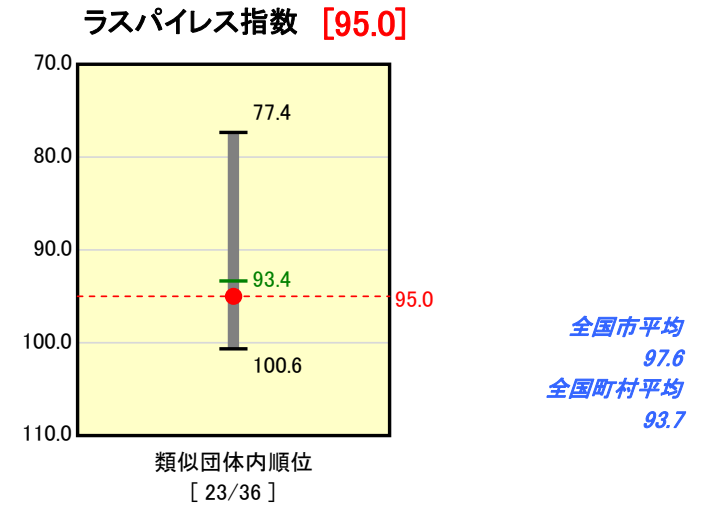
### 将来負担の健全度



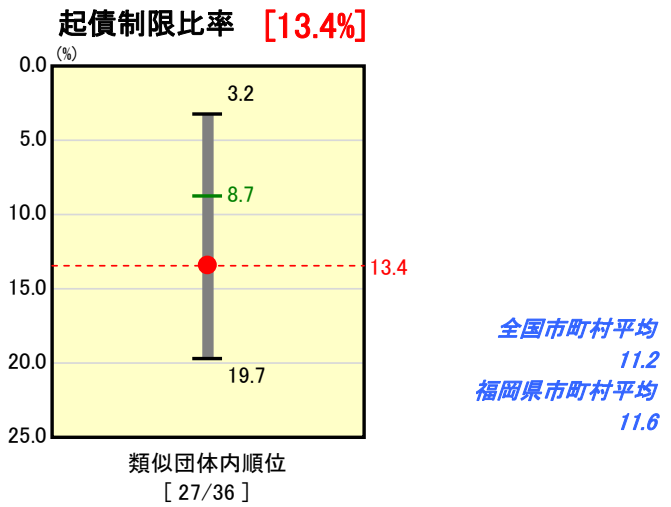
### 財政構造の弾力性



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度

